

それが私達の
願いです。

みんな元気に「輝いて生きる」

MIRAI Digest

名張育成会の「今！」がわかる

MIRAIとMIRAI reportそして輪ブログ

「MiRAi」とは、名張育成会と地域を結ぶコミュニティブログ。
「MiRAiレポート」は、各施設からのスタッフ便り。
「Café 輪」ブログでは、メニューや催し物をご案内しています。

YOUブログMIRAI

MIRAIレポート 名張

YOUブログRIN

vol.42
2015.5.1発行

発行:名張育成会MIRAIプロジェクト
社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者:男武正基(社会福祉法人名張育成会)
編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

「自分で考え、創造していく力～生きる力をはぐくむ～」

東部保育園改築移転に向けて

新しい園舎の立つ場所は美旗古墳群のひとつ「女良塚(じょうらづか)」のすぐ隣で、近くには美旗小学校もある。自然の風を感じられる気持ちの良い場所だ。

東部保育園ではこれまで、講師を招いたり、デンマークを始め日本各地の保育園、幼稚園の視察をしたりと研修を積み、「どんな保育が理想なのか」とのミーティングを重ねてきた。

そこで生まれたのが、「遊びを通じて、子どもたちの持っている力を存分に引き出す」というもの。新園舎、園庭のデザインにはそんな職員の学びが反映されている。

園舎は温かさに満ちた木造りで、「遊(遊ぶ)」「食(食べる)」「寝(寝る)」の空間を独立させた。また園庭は「遊」空間と一体となり、里山の裾に広がる「原っぱ」をイメージした。そこでは、子ども自らが遊びを選択し、「登りたい」「飛び越えたい」「渡りたい」といった自分の力を存分に試すことができる保育を行う。それは、子ども達が自然の中から多くのものを感じ、そして様々な体験を積みながら成長してほしいという願いが込められている。



園庭には、原っぱのように広がった緑、池、小川があり、またデコボコ道や高い築山があったりと子どもたちの冒険心がすぐられるたくさんの仕掛けがある。また木の成長に伴って、今後数年かけて出来上がっていく。



広い幼児室の中では遊びによってグループ分けした「ゾーン」を作り、自分の選択したゾーンで好きな遊びをして過ごす。

また特徴的なのは、3、4、5歳児と一緒に過ごす異年齢保育を行うこと。子ども同士、また子どもと大人の中で豊かなコミュニケーション力が育まれていく。個々の発達や特性に合わせた「その子の力を信じる保育」で、子どもたちは「自分の気持ちを受け止めて認めてもらえる、ここにいると安心できる」と感じられ、自己肯定感、自

発性や集中力を培っていく。

改築移転を機に、自然の中で自分で遊びを見つけだしたり、互いのルールを創ったりする園児を傍らにしながら見守る。そのような保育環境が築けたらと願っている。

新しい園舎園庭で子どもたちが思いっきり遊ぶ姿が見られる日が待ち遠しい。そしてこの保育園で“自己力”を身につけた園児らが、将来どのように自分の個性を羽ばたかせるのか大いに期待したいところだ。

※イラストはイメージ、園庭園舎のデザインは全て予定です。



乳児ルームからすぐに出られる場所にはシロツメクサの絨毯やなだらかな築山が出来る。

(文) 田口知恵子
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。

いつつ星☆物語

これは、グループホーム「いつつ星」の個性豊かな住人たちが、
支え合いながら、その人らしく輝いて暮らしていく物語です。

第5話 めーこさんの金曜日

グループホーム「いつつ星」では、
個性豊かなメンバーと一緒に生活しています。

めーこさんは月～金の夕方までを「いつつ星」で過ごし、
週末はお母さんのお迎えでご家族と一緒に暮らします。

さて、ある金曜日の夜のことで。

リスボンちゃんが自分の部屋でテレビを楽しんでいると、
リビングからゴソゴソと音が聞こえてきました。

「なにかな?」とドアを開けると
宿直支援員の藪田さんが「めーこさん、だめよ!」と言って
外に出ようとするめーこさんを必死に止めていました。

「どうしたの??」とリスボンちゃんがたずねると、
「めーこさんのお母さん、
今日お迎えに来られなくなったって連絡が入ったの。」
そして「お母さんは明日の朝来てくれるから、明日まで待とう。」
とめーこさんを説得していたのです。

するとめーこさんは泣きながらいやいやと頭を振り
なんとかして外に出ようとしています。

藪田さんはどうにかして止めようとしたのですが、
そっかわかった!と心を決め
「リスボンちゃん、ちょっとだけおもてに出てくるね」と、
めーこさんと一緒に外に出ていきました。

グループホームの生活に慣れるまで

まだグループホームでの生活に慣れないめーこさんにとって、毎週末にお母さんと過ごす時間は何よりの楽しみなのですが、迎えに来るはずのお母さんがいつまで経っても見えず、とうとうパニックに陥ってしまいました。その時藪田さんは、めーこさんの気持ちが痛いほどわかるだけに、ひたすらめーこさんに寄り添いパニックが収まるのに付き添ったようです。めーこさんにとって家族と離れて暮らすことは、今はとても辛く寂しいことでしょう。でも、ここで暮らせる「力」が付き、いつかいつつ星が自分の家として幸せの城となる。そのようなことのお手伝いができればと願っています。



この物語の舞台、
グループホーム「いつつ星」

監修:名張育成会広報委員会、作:田口知恵子(名張市在住)、イラスト:柴吟子(名張市在住)※この作品は著作権法などで保護されています。無断複写、転載、一部流用などを禁じます。お問合せ:shiori@n-ikuseien.jp 男武まで

この物語の主な登場人物…いつつ星の五人の住人



おさるのモンタくん コアラのラーラちゃん リスのリスボンちゃん サイのサイゾウくん ひつじのめーこさん

藪田さんはめーこさんが歩くままに任せてあとをつけて行きました。
そしてめーこさんの背中に向かってつぶやきました。

「めーこさん、つらいね。でもお母さんも、
いつかいつつ星で暮らせる「力」がつくようにと願っているんだよ」

めーこさんは行くあてもなく、ただお母さんに会いたくて会いたくて
ずっと歩く事をやめませんでした。

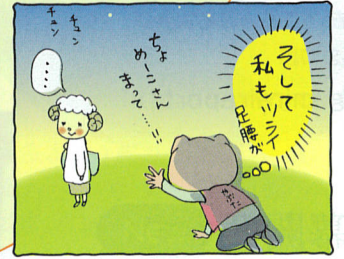
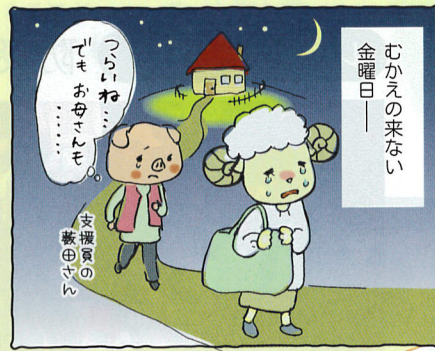
次の日の朝リスボンちゃんが目を覚ますとリビングに
ちよっと眠そうな藪田さんと、落ち着かない様子のめーこさんがいました。

その時です。ピンポンと玄関の呼び鈴が鳴りました。

「あ、お母さんよ!」
と藪田さんが言うか言わないかのうちに立ち上がっためーこさんは、
早く早く手を引きます。

「めーこさん、また日曜日の夜に待ってるからね。」
と藪田さんはめーこさんの手をポンポンと握り返し、
そしてリスボンちゃんと安どの表情を浮かべました。

今日は土曜日、お仕事もお休みです。
いつつ星の住人それぞれのお楽しみの週末がやってきます。



地域の方と育成園を結ぶ活動のご案内 オープン型イベント

名張育成会では、みなさんにほんの少しからでも親しみを持っていただけよう、またお役にたてるようさまざまな活動をしています。

育成園まつり
(5月17日(日)開催)



ウィンターイルミネーション
イベント(11月28日(土)開催)



ふれあいバザー
(毎年2月開催)



陽だまりコンサート
(翌年 3月6日(日)開催)



飲食、販売事業

パン工房 ういず
(住所)〒518-0615 名張市美旗中村2326
名張育成園駐車場内「パン工房ういず」
(連絡先)TEL:0595-66-0020
(営業時間)毎週月・火・木・金
11:00~17:00 ※定休日(水・土・日・祝)



Café 輪
(住所)〒518-0479 名張市百合が丘東9番町290番地(百合が丘小学校となり)
(連絡先)TEL:0595-62-3273 FAX:0595-64-6631
(営業時間)11:00~17:00(月~金曜) ※定休日(年末年始、土日祝)
ブログ:「YOUプログリン」で検索下さい
メール:rin@n-ikuseien.jp



CAFÉ & GALLERY ほっぷ
(住所)名張市新田字出山1225-1
(連絡先)TEL 0595-66-5513
(営業時間)10:00~17:00
※定休日(土・日・祝)

